

# TRAIL

## いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第78号 2022年9月30日発行

いわき市産業振興部

**【全国】回復過程にはあるが、内外の下振れ懸念材料に事欠かない！**

**【いわき市】第7波のコロナ禍の影響で、経済不振から抜けだせないでいる！**

**【経済・景気四方山話】**

テレワークは、“ハイブリッドワーク”の時代に！

### ■ 全国動向

'22年第Ⅱ四半期(4-6月)の「GDP速報値」(8/15)は、実質で前期比0.5%(年率2.2%)\*1と3四半期連続のプラス成長\*2となった(名目は同0.3%。年率1.1%)。GDP実額は、コロナ前の'19年10-12月期を超えた。“まん防”の解除による外食、宿泊、輸送等個人消費の回復や設備投資伸びなどによる。なお、'21年度の実質GDPは2.3%増と3年振りのプラス成長となった。

区分	前期比
GDP(実質) (年率換算)	0.5 (2.2)
民間消費	1.1
民間住宅	△1.9
設備投資	1.4
政府消費	0.5
公共投資	0.9
輸 出	0.9
輸 入	0.7

総括判断である「月例経済報告」(8/25)の“基調判断”は、先月を踏襲し“緩やかに持ち直し”とした。部門別に個人消費は、消費マインドが弱含んでいるなか、新車販売、対面サービス支出等で持ち直した。また設備投資が機械設備等で、生産は電子部品等で持ち直した。先行きは、経済社会活動の更なる進展が期待できるとした。ただし海外経済の下振れリスク

基調判断	穏やかに持ち直し
個人消費	緩やかに持ち直し
設備投資	持ち直しの動き
住宅投資	底堅い動き
輸 出	おおむね横ばい
輸 入	持ち直しの動き
生 産	持ち直しの動き
企業収益	総じて改善
雇用情勢	持ち直しの動き
海外経済	持ち直しが鈍化
先行き判断	持ち直しが期待

(注)程度は反映していない。

### 目 次

全国動向:回復過程にはあるものの、内外の下振れ懸念材料に事欠かない！	
いわき市の動向:第7波のコロナ禍の影響で、経済不振から抜けだせないでいる！	
経済・景気四方山話: テレワークは、“ハイブリッドワーク”の時代に！	
I 経済・景気調査:2022年第Ⅱ四半期(4-6月)	
1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ)	3
2. 景気の動き(景気動向指数)	9
【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き	
II 景気ウォッチャー調査:2022年2月時点	16

や、エネルギー価格、食料品等の値上がりの影響に留意することが必要である。

\*1 2次速報値(9/8)は前期比0.9%(年率3.5)に上方修正。

\*2 「建設工事受注動態統計」の遡及改定で、1-3月期のGDPを年率▲0.5%から0.1%に修正した結果による。

### ■ いわき市の動向

#### ● 経済・景気調査

不振は、'20年1-3月期以降続いているが、今期(4-6月)に至り、一部に下げ止まり感がでてきた。だが8月の景気ウォッチャー調査によれば、第7波のコロナ禍による停滞が浮き彫りとなっており、経済不振から抜けだせないでいる。

#### 【需要動向】

大規模小売店舗販売が5四半期振りに微増、前年水準を上回った。建築確認も一進一退ながら今期は増加。これら以外の自動車新規登録数、新設住宅着工戸数、公共工事等受注額はすべてマイナス。総じて需要の牽引力はまだ弱い。観光・入湯税は増加傾向で今後の展開が期待される。

#### 【企業動向】

中央卸市場取扱高が3四半期連続で前年水準を上回った。金融関係では、市制度融資利率と信用保証承諾額の減少の反面、代位弁済が増加しているなど企業の動きが気になる。企業倒産は1件。

#### 【雇用動向】

新規・有効求人倍率が上昇基調、雇用保険受給者は減少と、雇用はしつかり感がややでてきた。

#### ● 景気ウォッチャー調査('22年8月時点)

【現状DI】全業種の前回差は雇用を除く各部門がマイナス。

「回答内容」は“悪い”が約4割。

【先行きDI】全部門の前回差がマイナス。「回答内容」は“悪い”が約3割。「回答内容」は原表参照

【自由意見】“現状”はコロナ禍による悪影響に関するもの多く見られる。“今後”はコロナ禍の解消を期待する向きが多い。(産業創出課)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	前回差	今回	前回差
全業種	43.3	-9.1	47.2	-6.6
家計	42.4	-12.1	47.8	-4.7
小売	46.4	-8.1	51.2	-3.3
飲食	30.0	-45.0	60.0	-15.0
サービス	48.1	-8.8	38.5	-12.9
住宅	28.6	-4.7	46.4	13.4
企業	43.2	-5.2	45.5	-10.8
雇用	50.0	4.2	45.8	-12.5

## ■ 経済・景気四方山話:

### テレワークは、“ハイブリッドワーク”の時代に!

今、テレワーク (TW) が揺れている。TW については、本誌でも 3 回\*1触れているが、それらの中から、その動きを見るのに必要な視点として、3つの課題・問題点を取り上げる。

**その1.** TW 推進の際には、下表に示す情報というものの基本的性質を踏まえることが必要で

情報の基本的性質

区分	内容	適合業態
形式情報	数字のように含意がない。	事務・管理部門
意味情報	知識・経験等の暗黙知を含む。	企画・開発業務

ある。つまり TW は基本的には形式情報だが、仮想とはいえ画像があり意味情報の性質もあるため、その中間の“対面型コミュニケーションの不完全な代替物”である。従って、TW は企画・開発的業務のような face to face の発想・連想力を必要とする業務には適さないことを説いた。

**その2.** 東京都の人口は、'22年1月から6月までの6か月間、'13年7月以来、初めて流出した。これは TW 利用率の増加によるものだが、TW 利用率の更なる増加は東京圏人口一極集中の是正に繋がるとの見方が出ている。しかし TW の利用形態別にみて (次表)、TW の転出先は東京都隣

TWの利用形態

① 東京都内企業が地方に設置するTWを利用。
② 地方の個人住宅内でTWを使う。
③ 営利組織が運営するTWを利用。
④ 自治体が設置するTW共同利用施設を利用。
⑤ 東京都内企業が地方に移転する。
⑥ ワークーションを行う。

接県が多い、地方への展開は数量的なまとまりは無い、などから東京

圏一極集中是正には力不足であることを示した。

**その3.** 従来からの日本型雇用体系 (現場コミュニケーション重視、作業プロセスの監視・評価等) のなかで、リモート空間での業務把握・評価をどうするか。の経営管理上の問題を指摘した。

\*1 No. 54 ('16年9月)、No. 70 ('20年9月)、No. 71 ('20年12月)。

以上に掲げた課題・問題点は、コロナ禍の第7波の渦中にある今に至るまで、色々な面で変化してきている。その変化の中身を上記に述べた課題・問題点に沿って追跡する。

**第1**は、TW の導入が可能な職種がはっきりしてきたこと。その判断基準は、その職種がデジタル化できるかどうかで、デジタル化率が高いほど TW 化率は上がる。そのデジタル化と TW 化との関係を示したのが次表である。なおデジタル化は業務自体のことで業務推進のアプリではない。

職種別デジタル化・テレワーク化可能性

デジタル化	高	【職種Ⅱ】 (生産工程、建設、販売、接客、運転等)	【職種Ⅳ】 (情報・通信、法務、金融一般事務等)
	低	【職種Ⅰ】 (看護・介護師、医師、農林水産等)	【職種Ⅲ】 (教員、研究者、管理業務、製造技術者等)
		低	高
テレワーク化			

(注) 大久保慶広大教授作成図を、主旨を体し筆者解釈で図表化した (\*22年1月20日附日経Analysis)。

**第2**は、企業によって、週・全日 TW を継続する、TW 日と週・数日出社を組み合わせる、週・全日出社にする、などの違いがでてきたこと。これは、企画・開発業務の時間をどの程度確保するか、に加え、同じ場にはないと刺激や安心が生まれず、共感やオンラインだけでは得にくい、といった実践に生まれてきた問題に対する企業の対応の差である。

**第3**は、8/9公表の「人口動態調査」('22/1/1現在。次表)によれば、東京圏 (東京、埼玉、千葉、神奈川) の人口は、1975年以來、初めて前年比 0.1% 減、全国に占める割合は 0.1% 増となったこと。これが東京圏人口

東京圏の人口動態 (日本人住民)

	'22.1.1	'21.1.1	前年増減	増減率
東京都	13,277	13,297	△ 20	△ 0.15
3 県	22,333	22,348	△ 15	△ 0.07
東京圏	35,610	35,645	△ 35	△ 0.10
(全国比)	(28.9%)	(28.8%)	(0.1%)	(0.35%)
全国	123,224	123,843	△ 619	△ 0.50

(注) 3県は埼玉、千葉、神奈川。(単位:千人・%)

一極集中の緩和現象なのかは、全国的に人口が減少しているのははっきりしない。なお、別調査によれば、若年層を中心に TW を活用して東京から隣接県への転出するドーナツ現象が顕著とある。

**第4**は、リモート空間での業務把握・評価の仕方については、'21年3月、厚労省が「ガイドライン」を示した。“管理職による現認でなく PC の使用時間記録でもよく、一定の要件満たせば自己申告でもよい”、“フレックスタイム制やみなし労働時間制が適用できる”などの基準が示され制度が整ってきた。

以上のなかで、**第2**に関する動きが大きい。TW と出社のブレンド具合は、企業の生産性に大きな影響を与えるからである。今、企業は、その最適解に向けて試行中であり、そのような状態は下表のように“ハイブリッドワーク”と呼ばれている。

テレワーク推進の状況変化 (メンバー企業)

年度	2019年度	2020年度	2021年度
フェーズ	TW推進	TW定着	ハイブリッドワーク試行
TW の状態	TW利用者は少数派。働き改革・TW推進の取り組みが活発化。	コロナの影響でTWが出社に並ぶ標準的な働き方として定着。	出社とTWを組み合わせたハイブリッドワークの試行が始まる。

(出所) 「進展化を迎えた働き方改革・テレワークの推進-コロナ後を見据えた働き方-」 (日本テレワーク協会2021年度研究成果レポート (一部筆者意訳))。

(東日本国際大学名誉教授 大川信行)

# I 経済・景気調査：令和4年第Ⅱ四半期（4～6月）

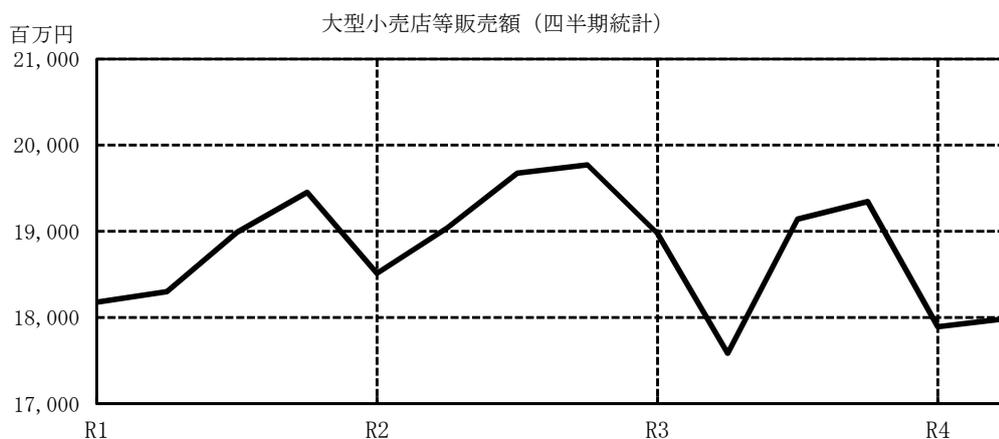
## 1 いわき市の経済の動き

### （1） 主要部門の動向（令和4年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

#### ① 需要動向

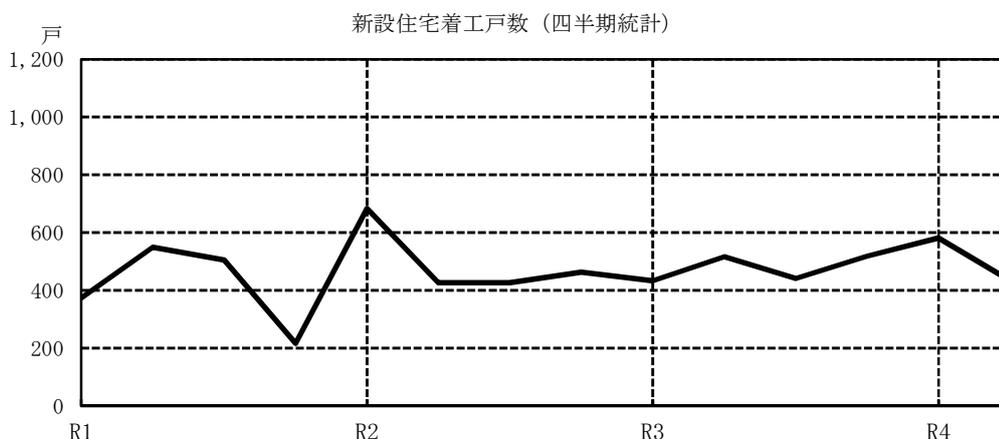
【個人消費】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大型小売店等販売額は約180億円（前年同期比2.3%の増加）となり、5四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は3,128台（前年同期比16.5%の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は435戸（前年同期比15.9%の減少）となり、5四半期振りに前年の水準を下回った。

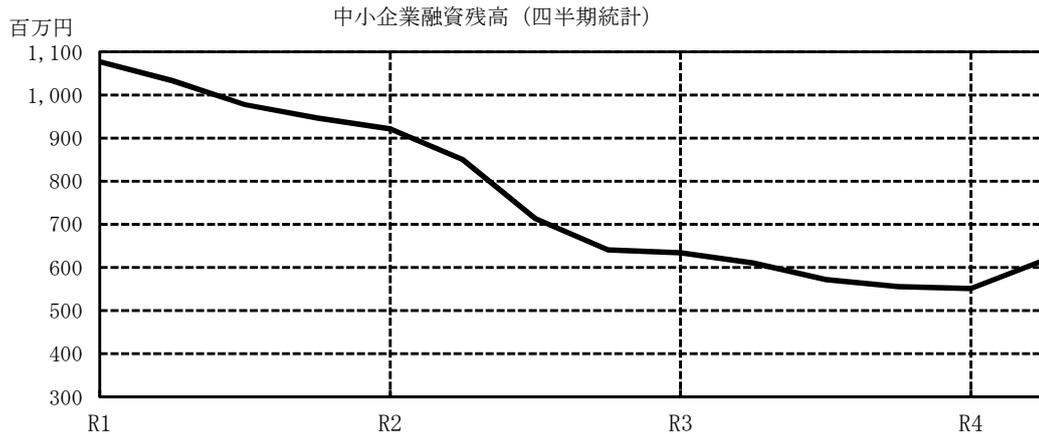
○ 公共工事等受注額は約57億円（前年同期比9.1%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。



【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、62.6（前年同期比71.1%の上昇）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。

## ② 企業動向

- 【生産活動】** ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約33億円（前年同期比0.4%の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。
- 【企業活動】** ○ いわき市中小企業融資残高は約6.2億円（前年同期比0.9%の増加）となり、平成31年第Ⅰ四半期以来、14四半期振りに前年の水準を上回った。
- 負債1千万円以上の企業倒産件数は1件（前年同期比50%の減少(=改善)）となり3四半期振りに前年の水準を下回った(改善した)。



## ③ 雇用情勢

- 【雇 用】** ○ 6月の新規求人倍率は2.39倍（前年同月より0.28ポイントの上昇）となり、2ヵ月振りに前年の水準を上回った。
- 6月の有効求人倍率は1.23倍（前年同月より0.02ポイントの上昇）となり、5ヵ月連続で前年の水準を上回った。
- 第Ⅱ四半期（4～6月）の雇用保険受給者実人員は3,484人（前年同期比8.1%の減少(=改善)）となり6四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区 分	需要動向													
	個人消費				建設需要					観光需要				
	大型小 売店等 販売額	前年 同期比	自動車 新規登 録台数	前年 同期比	新設住 宅着工 戸数	前年 同期比	建築確 認申請 受付件 数	前年 同期比	公共工 事等受 注額	前年 同期比	観光施設利用 者指数	前年 同期比	入湯税 調定人 員	前年 同期比
(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四 半期平均 =100)	(%)	(人)	(%)	
【年次統計】														
平成29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.2	696,264	-1.4
平成30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	395	-0.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
【四半期統計】														
令和2年 III	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	66.4	-48.1	55,549	-67.1
IV	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.6	-16.2	111,954	-27.9
令和3年 I	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	31.4	-42.9	57,466	-64.3
II	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	36.6	238.2	50,519	61.4
III	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	47.4	-28.7	85,941	54.7
IV	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	61.6	-1.6	107,458	-4.0
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0
II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3
【月次統計】														
令和2年7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.5	-45.5	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	26.8	-57.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	22.1	-31.5	28,497	-61.1
10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	20.2	-9.6	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.5	-9.0	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	18.9	-28.8	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-64.6	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.5	-61.9	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	14.3	69.6	23,714	-51.6
4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.2	474.4	16,285	-20.3
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	13.0	1,789	16,890	119.5
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	12.3	51.0	17,344	446.4
7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	21.0	20.4	27,895	217.7
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	16.7	-37.9	33,102	81.2
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	9.6	-56.3	24,944	-12.5
10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	17.8	-11.7	33,000	-6.9
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	21.6	-8.3	34,851	-7.5
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	22.2	17.4	39,607	2.0
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9
4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6
出典：	いわき市産業 創出課		いわき自動車検査 登録事務所、全国 軽自動車協会連合 会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 創出課（市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化）		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合、速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市中央卸売市場取扱高		小名浜港輸入通関実績		いわき市中小企業融資残高		いわき市中小企業融資利率		信用保証承諾額		信用保証協会代位弁済		手形交換高	
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
平成29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5	121,254	-5.7
平成30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6	118,174	-2.5
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	114,743	-2.9
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	108,605	-5.3
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	94,290	-13.2
【四半期統計】														
令和2年														
Ⅲ	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2	26,236	-10.5
Ⅳ	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6	23,588	-6.9
令和3年														
Ⅰ	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4	24,504	-12.9
Ⅱ	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4	26,962	-12.0
Ⅲ	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3	22,493	-14.3
Ⅳ	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1	20,330	-13.8
令和4年														
Ⅰ	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	21,543	-12.1
Ⅱ	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	21,176	-21.5
【月次統計】														
令和2年7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9	9,067	-19.0
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0	9,170	11.1
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2	7,998	-18.8
10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3	5,807	-28.5
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9	9,345	34.5
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6	8,436	-17.8
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5	7,056	-30.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5	7,192	6.1
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7	10,256	-8.5
4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0	8,579	-16.6
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0	9,886	19.2
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-	8,497	-29.5
7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6	5,561	-38.7
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-	10,362	13.0
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6	6,570	-17.9
10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0	4,971	-14.4
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5	7,975	-14.7
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5	7,385	-12.5
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	7,312	3.6
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	6,410	-10.9
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	7,821	-23.7
4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	5,993	-30.1
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	9,941	0.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	5,243	-38.3
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき手形交換所		

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市 民税調 定額		企業倒 産件数		企業倒 産負債 総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス 業	総合 (全業種)
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比						
年 月	(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】												
平成29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
平成30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	3,312	-21.1	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和2年												
Ⅲ	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	-	-	-	-	-	-
令和3年												
Ⅰ	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	1,223	-14.7	2	0.0	165	200.0	-	-	-	-	-	-
Ⅲ	862	-23.4	2	-50.0	545	74.1	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	836	-23.9	4	33.3	467	147.1	-	-	-	-	-	-
令和4年												
Ⅰ	459	17.1	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	1,199	-2.0	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
令和2年7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
8月	345	-1.8	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	-	-	-	-	-	-
11月	915	1.5	2	-	99	-	-	-	-	-	-	-
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	-	-	-	-	-	-
2月	122	-17.0	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
4月	110	-35.3	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	293	-2.6	2	100.0	165	534.6	-	-	-	-	-	-
6月	820	-14.8	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
7月	422	-34.7	1	-	260	-	-	-	-	-	-	-
8月	340	-1.5	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	100	-25.2	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
10月	78	-29.8	2	100.0	116	28.9	-	-	-	-	-	-
11月	703	-23.2	2	0.0	351	254.5	-	-	-	-	-	-
12月	55	-24.2	0	-	0	-	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
令和4年1月	111	32.4	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	132	8.4	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	216	15.9	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
4月	114	3.5	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	283	-3.6	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	802	-2.2	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
出典：	いわき市市民 税課(法人税 割)	東京商工リサーチ(負債総額 1,000万円以上)				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構 成比(各月末時点) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査						

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてⅠは1~3月、Ⅱは4~6月、Ⅲは7月~9月、Ⅳは10~12月を示す。

区 分 年 月	雇 用						そ の 他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	(倍)	前年 同期比 (%p)	(倍)	前年 同期比 (%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)	家計動向	企業動向	雇用関連	総合	
【年次統計】													
平成29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-	
平成30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	
【四半期統計】													
令和2年 III	-	-	-	-	4,558	23.6	2,041	-17.9	-	-	-	-	
IV	-	-	-	-	3,869	10.5	2,068	-14.1	-	-	-	-	
令和3年 I	-	-	-	-	3,493	-2.2	1,801	-15.0	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,791	-1.0	1,787	16.7	-	-	-	-	
III	-	-	-	-	4,011	-12.0	1,806	-11.5	-	-	-	-	
IV	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-	
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-	
【月次統計】													
令和2年7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	-	-	-	-	
8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	39.2	
9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	-	-	-	-	
10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	-	-	-	-	
11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	38.0	
12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	-	-	-	-	
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	-	-	-	-	
2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	46.6	
3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	-	-	-	-	
4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	-	-	-	-	
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0	
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	-	-	-	-	
7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	-	-	-	-	
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9	
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	-	-	-	-	
10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-	
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4	
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-	
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-	
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3	
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-	
4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-	
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8	
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-	
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

## 2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和4年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

### （1） C I（コンポジット・インデックス）

#### ① 概要

6月のCIは、先行指数が103.9、一致指数が88.8、遅行指数が82.7となった。

#### ② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 6月は103.9ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）、新規求人倍率（3ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月振り）、いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI（2ヵ月振り）の2指標であった。

【一致指数】 6月は88.8ポイントで、4ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資残高（4ヵ月連続）、高速道路出入交通量（4ヵ月連続）等の7指標、マイナスの指標は、観光施設利用者指数（4ヵ月振り）、鉱工業出荷指数（7ヵ月連続）の2指標であった。

【遅行指数】 6月は82.7ポイントで、2ヵ月振りに下降した。

寄与度がプラスの指標は、入湯税調定人員（3ヵ月連続）、鉱工業在庫指数（5ヵ月連続）等の3指標、マイナスの指標は、雇用保険受給者実人員（逆）（3ヵ月振り）、いわき手形交換所交換高（2ヵ月振り）等の5指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

#### ③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分	令和3年						令和4年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先行指数（C I）	95.2	88.1	84.8	87.4	90.6	99.3	102.2	91.6	98.3	102.7	92.7	103.9
前月差(ポイント)（寄与度合計）	2.40	-7.15	-3.26	2.63	3.21	8.65	2.87	-10.57	6.74	4.41	-9.99	11.12
先行系列寄与度内訳												
1. 自動車新規登録台数	1.10	-0.96	-3.14	0.35	3.49	-0.71	0.48	-0.44	0.98	0.60	-1.09	1.01
2. 新設住宅着工戸数	-0.77	0.54	-0.04	0.58	-1.04	1.90	2.19	-3.69	1.24	1.63	-3.71	2.51
3. 建築確認申請受付件数	-0.81	-0.42	1.21	-0.17	0.37	-1.10	0.70	-2.14	2.55	3.02	-3.75	3.79
4. 鉱工業在庫率指数（逆）	0.99	-0.17	-0.79	-0.05	0.25	1.91	0.25	-2.28	1.31	-0.10	0.50	-1.56
5. 中小企業DI（全業種）	-0.04	-0.04	-2.06	0.00	0.00	2.97	-0.04	-0.04	-1.56	-0.01	-0.01	1.60
6. 新規求人倍率	1.85	-3.48	1.37	1.76	-3.36	3.61	-0.77	-1.11	2.26	-0.83	-2.93	3.72
7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.05	-2.82	0.02	0.02	3.35	-0.06	-0.05	-0.85	-0.03	-0.03	0.89	-0.04
8. 一致指数トレンド成分	0.11	0.20	0.16	0.14	0.14	0.13	0.12	-0.02	-0.02	0.12	0.10	0.08
一致指数（C I）	78.9	75.1	78.8	83.1	85.8	87.1	80.5	75.7	80.2	85.1	87.5	88.8
前月差(ポイント)（寄与度合計）	4.93	-3.74	3.68	4.25	2.71	1.32	-6.55	-4.85	4.52	4.94	2.33	1.36
一致系列寄与度内訳												
1. 公共工事受注額	0.22	0.00	0.23	0.85	-0.17	-1.03	-0.16	-1.44	-1.43	-0.03	-0.44	0.24
2. 観光施設利用者指数	1.38	-1.39	0.52	1.46	0.94	1.08	-1.29	-1.42	1.41	0.78	1.56	-1.23
3. 大型小売店等販売額	1.39	-0.85	0.45	0.15	-0.11	0.09	-1.06	0.10	0.87	1.09	-0.42	0.30
4. 鉱工業生産指数	0.07	-0.13	0.18	-0.28	0.38	-0.51	-1.52	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
5. 鉱工業出荷指数	0.17	-1.39	1.24	0.25	0.67	-1.04	-1.52	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01
6. 小名浜港輸出入通関実績	0.17	0.64	0.21	0.08	-0.73	0.50	0.49	-0.76	0.68	0.73	-0.04	0.24
7. いわき市中小企業融資残高	0.68	0.77	-0.13	0.27	1.54	0.42	-0.60	-0.61	1.03	1.05	1.56	0.96
8. 有効求人倍率	0.54	-0.10	-0.52	-0.09	-0.83	0.53	0.54	0.60	0.47	-0.10	0.03	0.38
9. 高速道路出入交通量	0.31	-1.28	1.49	1.55	1.02	1.28	-1.44	-1.32	1.49	1.41	0.07	0.47
遅行指数（C I）	80.3	79.9	79.3	82.7	85.0	85.0	86.6	84.1	82.2	82.1	86.0	82.7
前月差(ポイント)（寄与度合計）	3.45	-0.59	-0.81	3.15	2.23	-0.59	3.54	-2.67	-2.00	-0.17	3.83	-3.44
遅行系列寄与度内訳												
1. 入湯税調定人員	1.85	0.70	-1.82	1.92	0.35	0.33	0.31	-0.65	-1.90	1.91	0.64	0.10
2. いわき市中央卸売市場取扱高	1.68	-1.82	0.86	1.90	0.20	-0.52	1.03	-1.03	0.46	-0.52	-0.02	-0.14
3. 鉱工業在庫指数	-0.10	0.17	0.16	0.30	0.08	0.55	-1.87	0.12	0.10	0.09	0.09	0.07
4. いわき市中小企業融資利率	0.09	-1.12	0.27	0.01	0.90	-0.01	-0.46	0.00	0.82	-1.89	0.88	-0.99
5. いわき手形交換所交換高	-0.22	1.34	-0.78	0.11	0.00	0.07	0.45	-0.39	-0.33	-0.15	0.83	-1.03
6. 法人市民税調定額	-0.26	0.36	-0.10	-0.79	0.25	-0.06	1.32	-0.58	-0.28	-0.10	0.10	-0.02
7. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.22	-0.23	0.62	-0.14	0.40	-0.52	0.78	0.00	-0.76	0.49	1.31	-1.44
8. 一致指数トレンド成分	0.09	0.18	0.14	0.13	0.13	0.12	0.10	-0.02	-0.02	0.09	0.09	0.07

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

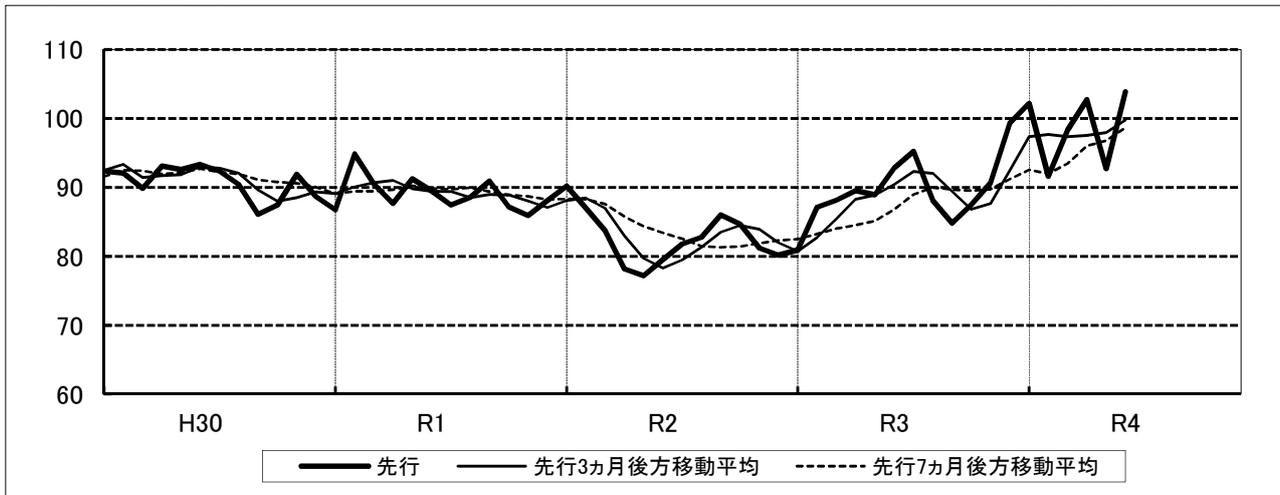
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

#### ④ CIの推移

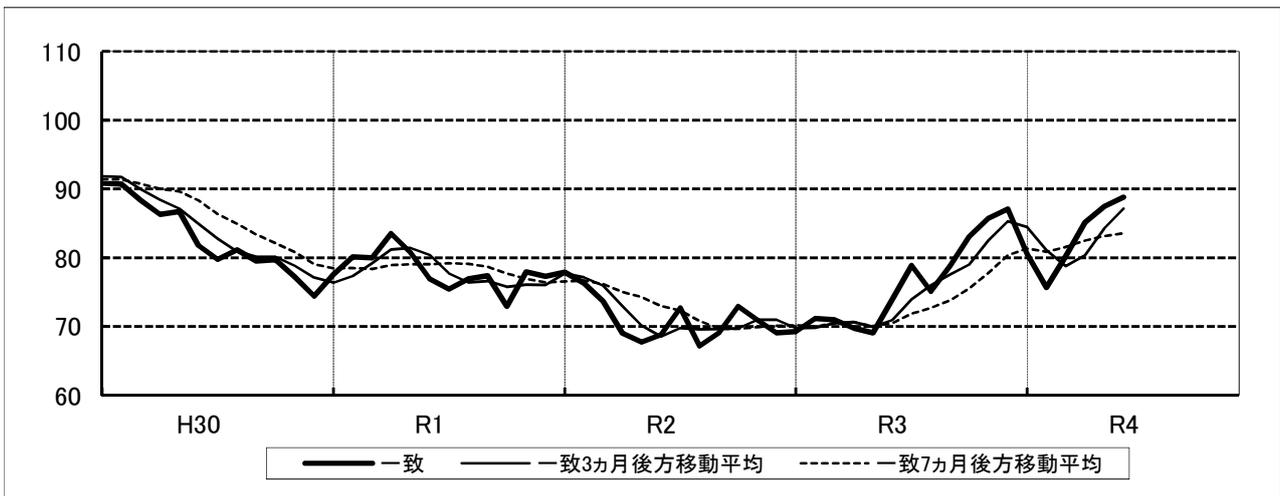
##### ・先行指数の推移

(平成27年 = 100)



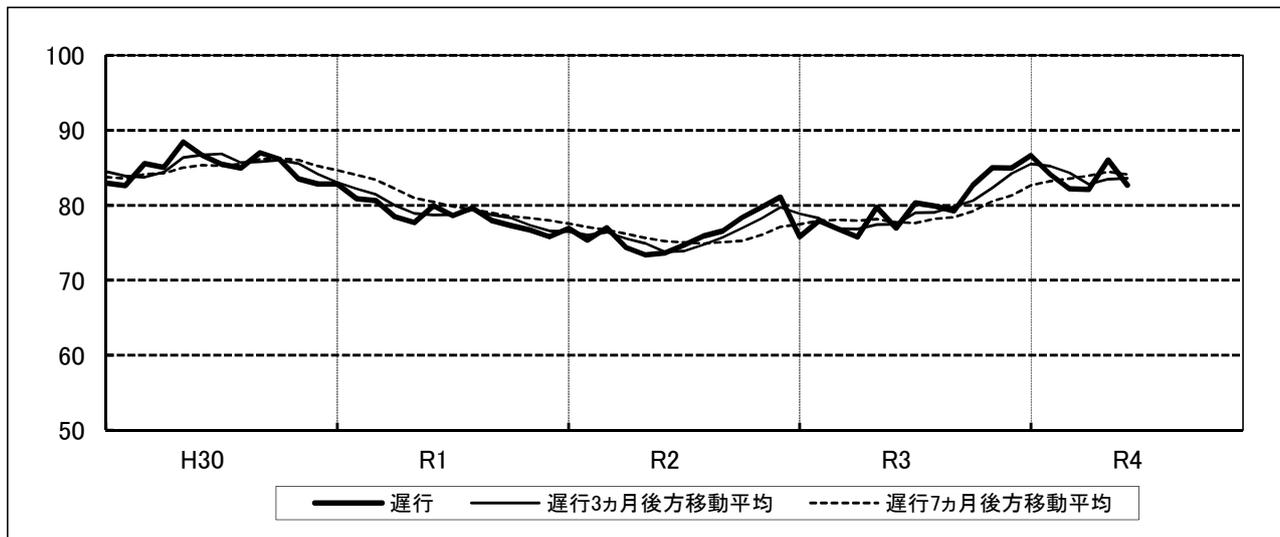
##### ・一致指数の動向

(平成27年 = 100)



##### ・遅行指数の動向

(平成27年 = 100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	102.0	105.6	109.6	105.7	111.3	111.5	118.5	119.0	113.7	113.6	123.1	118.6
26	118.8	127.4	125.7	108.2	117.1	111.3	112.0	111.2	110.4	110.1	105.1	110.0
27	109.7	101.2	105.5	99.7	97.2	100.3	99.8	98.6	98.4	98.8	98.1	92.8
28	93.4	88.4	83.7	90.5	89.6	86.2	91.8	87.4	81.9	85.8	85.0	86.1
29	86.0	86.5	84.4	88.0	85.1	92.8	85.5	90.4	96.3	91.3	89.4	95.6
30	92.3	92.1	89.9	93.1	92.6	93.3	92.4	90.4	86.1	87.4	91.9	88.6
1	86.8	94.9	90.5	87.7	91.2	89.5	87.4	88.6	90.9	87.2	85.9	88.1
2	90.2	87.0	83.7	78.2	77.2	79.5	81.8	82.8	86.0	84.7	81.2	80.2
3	80.9	87.1	88.1	89.5	88.9	92.8	95.2	88.1	84.8	87.4	90.6	99.3
4	102.2	91.6	98.3	102.7	92.7	103.9						

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	99.7	100.0	102.1	100.2	104.0	100.0	101.8	105.9	101.3	101.3	105.7	105.6
26	106.1	101.2	107.7	99.9	101.6	103.8	104.9	108.4	106.6	106.5	102.1	100.1
27	103.0	101.8	100.7	102.5	101.4	99.8	101.1	100.9	101.1	97.1	95.9	94.7
28	94.1	93.2	87.4	90.1	87.1	90.3	91.2	87.9	90.6	94.9	97.7	98.7
29	96.3	96.2	97.2	95.8	97.3	95.9	91.4	92.5	91.4	89.2	91.0	93.6
30	90.8	90.7	88.4	86.3	86.7	81.8	79.8	81.1	79.5	79.7	77.2	74.4
1	77.6	80.1	80.0	83.5	80.8	76.9	75.4	76.9	77.4	72.9	77.9	77.3
2	77.9	76.3	73.7	69.0	67.8	68.8	72.7	67.2	69.1	72.9	70.9	69.1
3	69.2	71.1	71.0	69.7	69.1	73.9	78.9	75.1	78.8	83.1	85.8	87.1
4	80.5	75.7	80.2	85.1	87.5	88.8						

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	98.0	100.7	98.8	104.7	98.8	96.7	100.4	99.1	100.1	96.8	98.4	97.8
26	98.2	99.8	99.4	99.5	102.3	104.2	99.4	99.1	97.7	98.2	98.1	100.4
27	99.8	100.4	105.4	102.7	101.9	99.2	100.6	99.8	98.9	98.4	97.7	95.1
28	94.6	98.3	94.0	93.2	93.6	90.8	90.4	92.6	90.3	92.6	89.2	88.7
29	91.3	85.5	89.1	87.0	84.1	83.8	84.0	81.4	84.2	83.2	84.5	86.1
30	82.9	82.6	85.6	85.1	88.5	86.7	85.5	85.0	87.0	86.1	83.5	82.8
1	82.9	80.9	80.6	78.5	77.7	79.9	78.6	79.6	78.0	77.3	76.7	75.8
2	76.9	75.3	77.0	74.4	73.4	73.6	74.7	75.9	76.6	78.4	79.7	81.1
3	75.8	78.0	76.8	75.8	79.7	77.0	80.3	79.9	79.3	82.7	85.0	85.0
4	86.6	84.1	82.2	82.1	86.0	82.7						

## (2) DI (デフュージョン・インデックス)

### ① 概要

【先行指数】 6月は、57.1%と5ヵ月振りに50%を上回った。

【一致指数】 6月は、66.7%と3ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 6月は、42.9%と3ヵ月連続で50%を下回った。

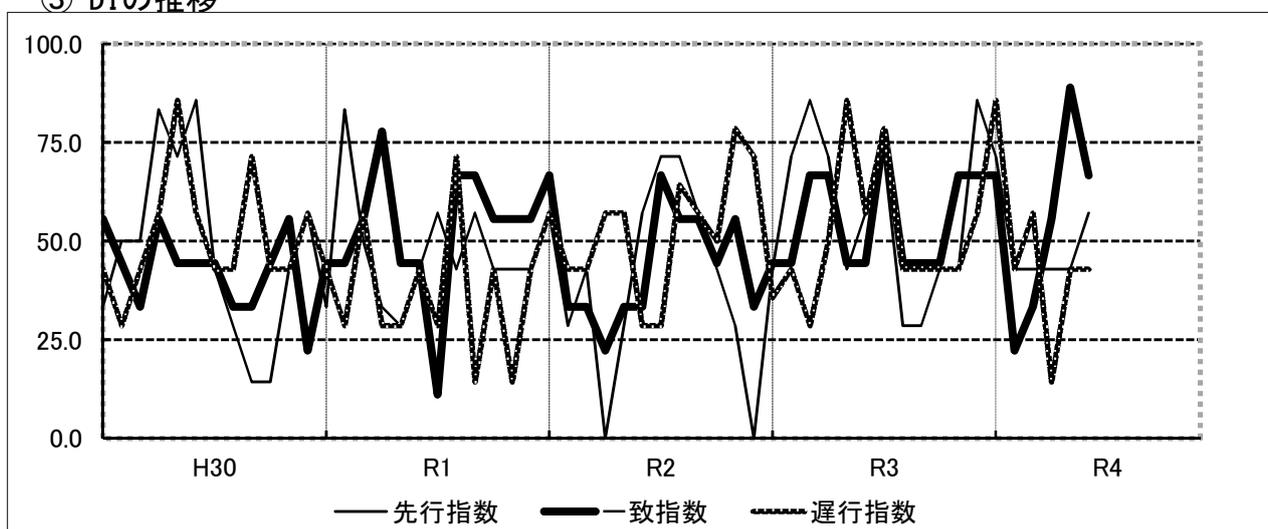
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

### ② DIの推移

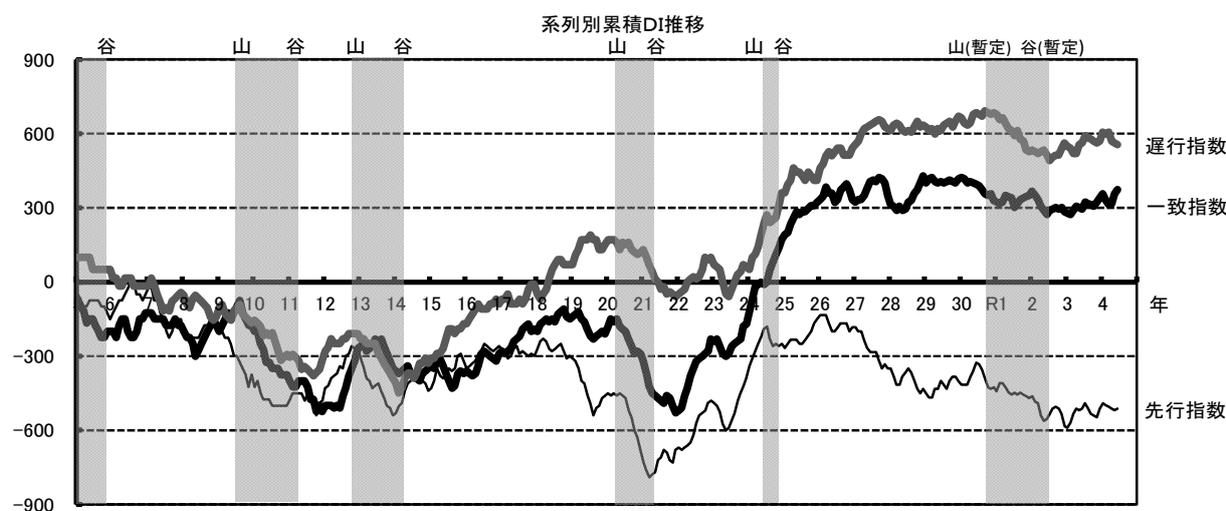
区 分	令和3年						令和4年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先行指数 (D.I)	71.4	28.6	28.6	42.9	42.9	85.7	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1
一致指数 (D.I)	77.8	44.4	44.4	44.4	66.7	66.7	66.7	22.2	33.3	55.6	88.9	66.7
遅行指数 (D.I)	78.6	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	85.7	42.9	57.1	14.3	42.9	42.9

注) DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

### ③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + \text{DI}(t) - 50$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-100を、遅行指数に100を加算してある。

注4) 影の部分には国における景気後退期を示す。

## -景気動向指数利用の手引き-

### (1) 景気動向指数の概要

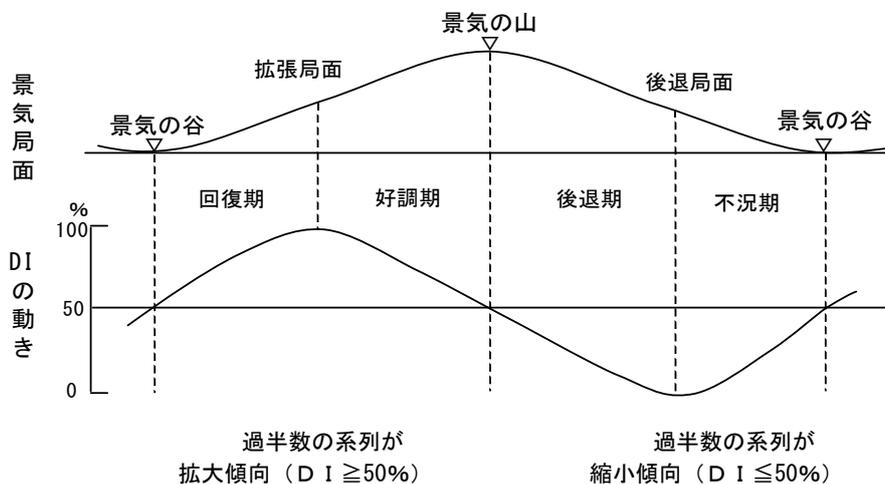
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

### (2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ [http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu\\_di.html](http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html)を参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

### (3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 = 0.333$ （DI=33.3%）と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



### (4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10(暫定)	R2. 5(暫定)

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	5 いわき手形交換所交換高	前	手形の交換高には、企業の取引活動の活発さが反映される。	いわき手形交換所
	6 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	7 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均  
逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

## 【参考】国・県の動き

### 1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)          景気は、緩やかに持ち直している。          ・個人消費は、緩やかに持ち直している。          ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。          ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。          ・生産は、持ち直しの動きがみられる。          ・企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。          ・雇用情勢は、持ち直している。          ・消費者物価は、上昇している。          先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要がある。          (内閣府「月例経済報告」令和4年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、新型コロナウイルス感染症等の影響により先行きに不透明感がみられるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。          ・個人消費……一部に持ち直しの動きがみられる。          ・建設需要……高水準にあるものの、弱い動きがみられる。          ・生産活動……一進一退の状況が続いている。          ・雇用・労働……緩やかな改善がみられる。          ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。          ・企業・金融……企業倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。          (福島県「最近の県経済動向」令和4年8月公表分)</p>

### 2 景気動向指数(CI)

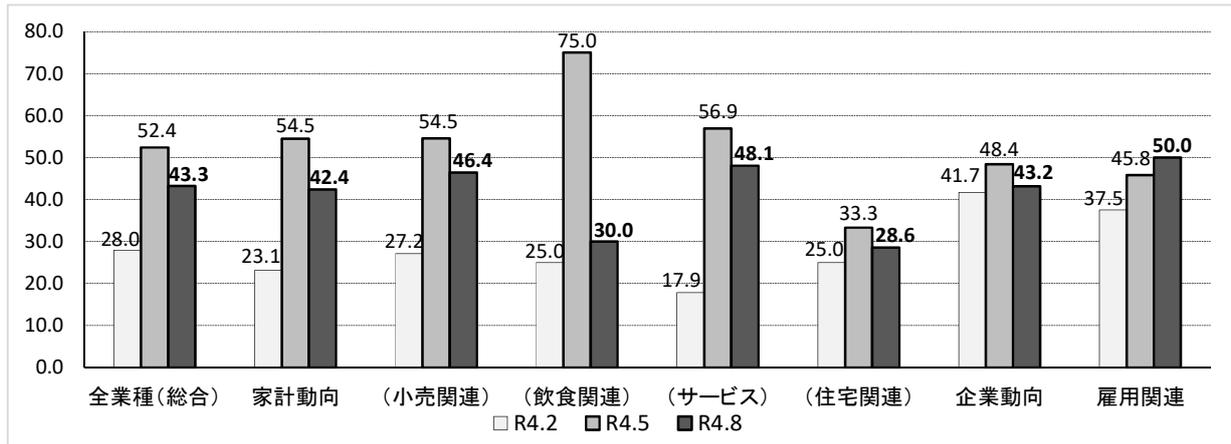
(1) 国の動向	<p>6月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:100.6、一致指数:99.0、遅行指数:97.4となった。          先行指数は、前月と比較して0.6ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.06ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.20ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。一致指数は、前月と比較して4.1ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.73ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.38ポイント上昇し、8ヵ月連続の上昇となった。遅行指数は、前月と比較して1.7ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.70ポイント上昇し、7ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.47ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。          (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和4年8月公表分)</p>		
(2) 県の動向	<p>1 概 括          6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数108.6ポイント、一致指数74.5ポイント、遅行指数99.8ポイントとなった。          先行指数は、前月(106.2ポイント)を2.4ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。          一致指数は、前月(74.1ポイント)を0.4ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。          遅行指数は、前月(96.1ポイント)を3.8ポイント下回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>最終需要財出荷指数 1.75 2ヵ月振り              鉱工業生産指数 1.42 2ヵ月振り              所定外労働時間指数(全産業) 1.18 2ヵ月振り              生産財出荷指数 0.24 3ヵ月連続              建築着工床面積(鉱工業) 0.24 3ヵ月振り              百貨店・スーパー販売額(既存店) 0.10 2ヵ月振り</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>手形交換金額(1枚当たり) △ 2.14 2ヵ月振り              雇用保険受給者実人員 △ 2.05 2ヵ月振り              有効求人倍率 △ 0.29 3ヵ月振り</p> </td> </tr> </table> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和4年8月公表分)</p>	<p>寄与度がプラスの系列</p> <p>最終需要財出荷指数 1.75 2ヵ月振り              鉱工業生産指数 1.42 2ヵ月振り              所定外労働時間指数(全産業) 1.18 2ヵ月振り              生産財出荷指数 0.24 3ヵ月連続              建築着工床面積(鉱工業) 0.24 3ヵ月振り              百貨店・スーパー販売額(既存店) 0.10 2ヵ月振り</p>	<p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>手形交換金額(1枚当たり) △ 2.14 2ヵ月振り              雇用保険受給者実人員 △ 2.05 2ヵ月振り              有効求人倍率 △ 0.29 3ヵ月振り</p>
<p>寄与度がプラスの系列</p> <p>最終需要財出荷指数 1.75 2ヵ月振り              鉱工業生産指数 1.42 2ヵ月振り              所定外労働時間指数(全産業) 1.18 2ヵ月振り              生産財出荷指数 0.24 3ヵ月連続              建築着工床面積(鉱工業) 0.24 3ヵ月振り              百貨店・スーパー販売額(既存店) 0.10 2ヵ月振り</p>	<p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>手形交換金額(1枚当たり) △ 2.14 2ヵ月振り              雇用保険受給者実人員 △ 2.05 2ヵ月振り              有効求人倍率 △ 0.29 3ヵ月振り</p>		

## II いわき市景気ウォッチャー調査：令和4年8月時点

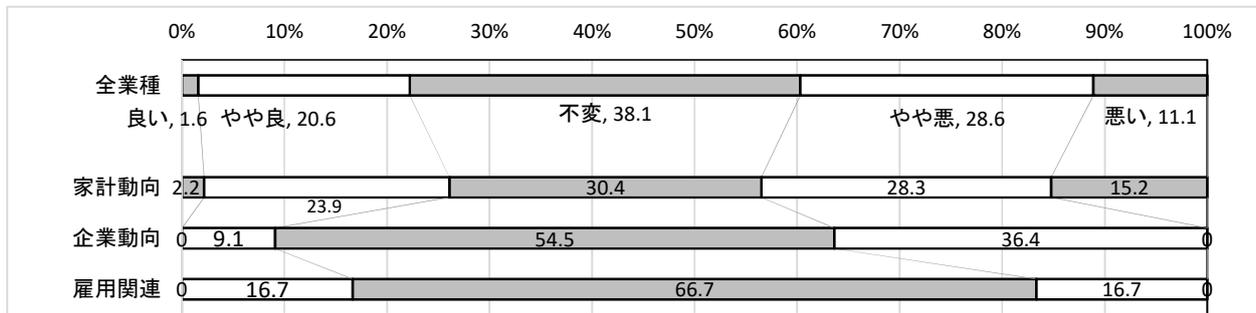
### 1 景気の現状について

#### (1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは43.3と、前回より9.2ポイント低下した。内訳をみると、雇用関連は上昇したものの、家計・企業が大きく低下した。
- 主要業種別では、家計動向関連が42.4と前回より12.1ポイント低下した。家計の内訳では小売、飲食、サービス、住宅のすべてで低下した。企業動向関連は43.2と5.3ポイント低下し、雇用関連は50.0と4.2ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3か月前と比べて「良くなっている」は1.6%であり、「やや良くなっている」が20.6%、「変わらない」が38.1%、「やや悪くなっている」が28.6%、「悪くなっている」が11.1%となった。



#### (2) 現状判断の理由

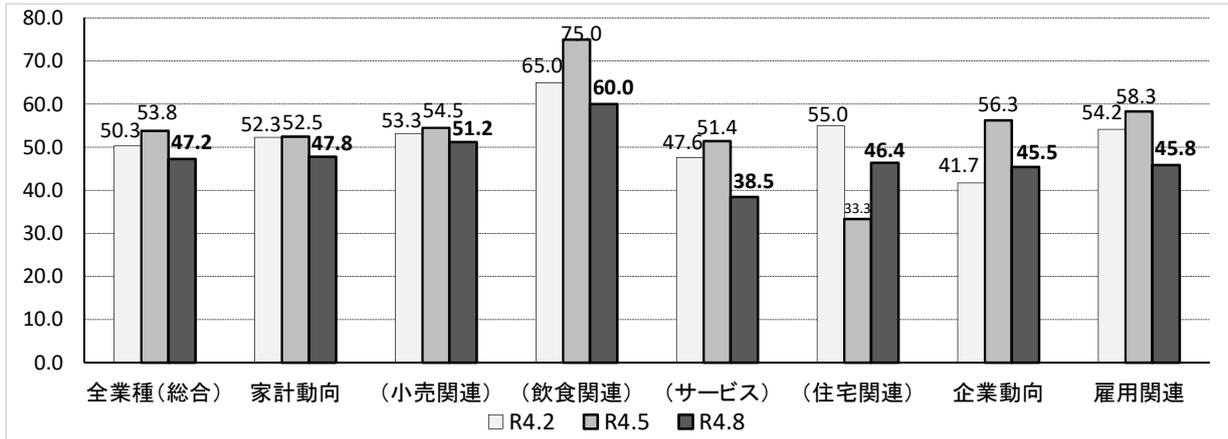
現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	4	4	12	20	1. 受注量や販売量	1	5	2	8	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	7	5	1	13	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	0	2	2	3. 取引先の様子	0	1	2	3	3. 採用者の動き	0	1	0	1
4. お客様の様子	1	3	5	9	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	1	1	3
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	0	2	0	2										
合計	12	14	20	46	合計	1	6	4	11	合計	1	4	1	6

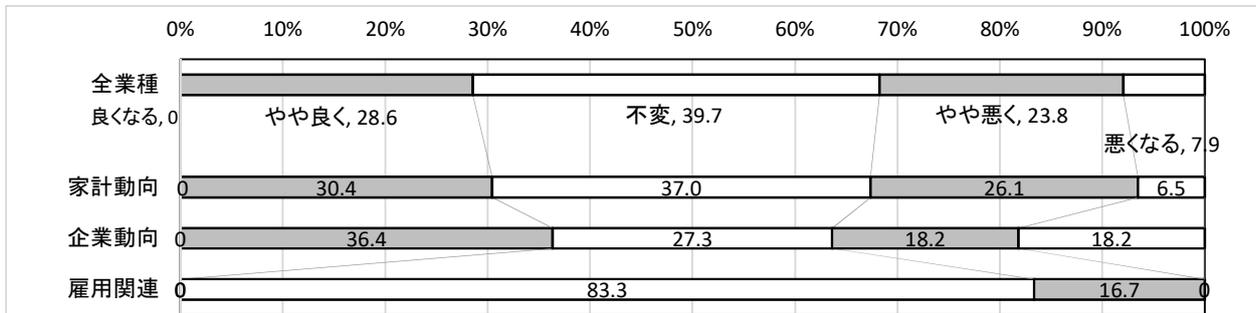
## 2 景気の先行きについて

### (1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは47.2と、前回より6.6ポイント低下した。家計・企業・雇用関連のすべてで低下した。
- 主要業種別では、家計動向関連が47.8と前回より4.7ポイント低下した。家計の内訳では住宅関連が上昇し、小売・飲食・サービスが低下した。企業動向関連は45.5と10.8ポイント低下し、雇用関連は45.8と12.5ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は0%であり、「やや良くなる」が28.6%、「変わらない」が39.7%、「やや悪くなっている」が23.8%、「悪くなっている」が7.9%となった。



### (2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)					項目(企業)					項目(雇用)				
	良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	7	4	3	14	1. 受注量や販売量	3	2	1	6	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	5	3	2	10	2. 受注価格や販売価格	0	0	1	1	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	0	1	3	4	3. 取引先の様子	1	1	2	4	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	5	2	7	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	2	1	3
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1
6. その他	2	4	4	10										
合計	14	17	14	45	合計	4	3	4	11	合計	0	5	1	6

### 3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。  
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。  
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

#### (街の様子・景気、消費の動向等)

- 3カ月前(5月以前)に比べ、タクシーの乗降客が2~3割増えている。
- 8月は来街者も少なく、コロナ感染の拡大もあり個人消費も減少。外出を控えていることもあると思う。
- 8月に入ってから人の流れがますます悪くなった。
- いわき市内感染者の増加により人出が極度に減っている。
- 感染症の影響が感じられる。
- コロナ禍において商店街への来店客が激減していると思う。お客様の高齢化にも影響がある。
- コロナ感染者数の発表に左右され、ほぼ予約はキャンセルされた。感染者が減少すれば夜の飲食店を利用する機会も増えるのではないかと願いたい。
- 市内のコロナ感染状況に疑心暗鬼の状態である。
- 新型コロナウイルス感染の増減により来客が大きく変る。
- 新型コロナウイルスの影響長期化に伴ない、消費マインドが著しく低下していると感じる。
- 新型コロナの動きが不明。
- 全国的には穏やかな回復傾向が見られるが、市内に関しては世帯収入の動向に比し生活インフラ費の増加が影響を及ぼしている。
- まずは新型コロナが落ち着かないと、どうにもならない。
- 離職者の増加がコロナ感染状況に左右されると想定されるが、引き続き個人に合った就職支援を行っていく。
- 円安の影響も含めて商品の値上げがとまらない。いずれ購買意欲が落ちると思うので先が見えない不安がある。

#### (今後の見通し、行政への要望等について)

- 8月に入り、行動制限のない夏休み、夏まつり、お盆帰省者等で、コロナ感染者超急増中、スタッフ感染者ができれば、営業停止を余儀なくされる状態。市独自のコロナ感染防止策を強く望む。
- 当社は新型コロナウイルスの影響をとっても受けやすい事業である。マスコミの報道など、行政の方向性などをもっと検討して頂くと非常に助かる。
- コロナの第7波でも行動制限がなかったことから結婚式場などの延期、キャンセルはなくなったと聞いている。高速バスやJRなども利用客でいっぱいである。受注減となった事業者が急激に売上回復につながるとは考えにくく、雇用調整助成金コロナ枠の延長の発表もないことから、コロナ感染者は減少することはなくまた、10月以降の雇調金入金がなくなることから運転資金が枯渇する事業者が出てくるのではないかとと思われる。
- 県内、市内の急激なコロナ感染者の増加は、人々の外出の制限を無意識に働きかける。特に、飲食業は不特定多数が集まる場所でもあるので、これから来客者数は激減になってゆく予想。秋までに平常に近づけないと、冬はさらに厳しいものとなるかもしれない。それとすべての値上げが、さらに景気を悪化させていく気がする。
- 景気が悪くなるとは思わない。ただ、円安が続き、物価が上がれば別である。
- 新型コロナが減少しないことには景気は回復しないのではないか。
- 行政改革一市職員が多すぎる。事務手続の簡素化をして欲しい。

## - いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

### (1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

### (2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連77人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計108人を調査客体とする。今回（令和4年8月）の調査の回答数は63人（有効回答率58.3%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	77人	71%	46人	
小売関連	34人	31%	21人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	5人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	24%	13人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	7人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	11人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	6人	人材派遣、職業紹介等
合計	108人	100%	63人	

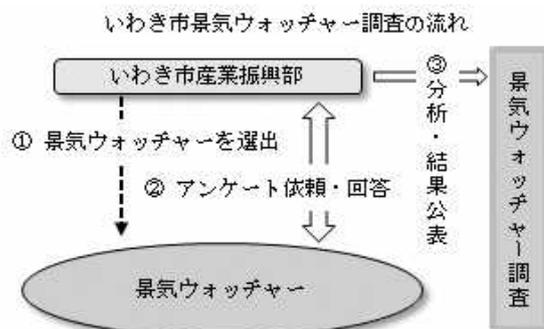
### (3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

### (4) 調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



### (5) DIの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりDIを算出する。

DIは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

**いわき市景気ウォッチャー調査票 (令和 年度第 回)**

令和 年 月 日

ご回答者

ご所属・お名前 \_\_\_\_\_ 様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）について  
ご回答ください。

該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。

<b>【質問1】</b> 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
<b>【質問2】</b> 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 採客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【質問3】</b> あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
<b>【質問4】</b> 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 採客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【自由回答（市内景気動向に関して）】</b>	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外



---

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業創出課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地  
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)  
e-mail : [sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp](mailto:sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp)

---